

**第4回（仮称）都の北学園
校名・校歌・校章部会 議事要録**

● **日時・場所・参加者**

- 1 日 時：令和3年4月26日（月）午後6時30分～午後8時00分
- 2 場 所：神谷中学校 体育館
- 3 参加者：校名・校歌・校章部会 14名

● **議題**

- 1 校章について
スケジュールについて
事務局より、当面のスケジュールについて確認した。

- 2 校歌について
 - (1) スケジュールについて
以下のスケジュールの変更点について、事務局から説明があった。
 - ①新しい校歌を作成する場合
 - ②既存校の校歌をそのまま或いは一部変更して活用する場合
(説明の内容は、次ページ以降を参照)

 - (2) 作成方法について
校歌を新たに作成することに決定した。
(説明及び質疑応答の内容は、次ページ以降を参照)

- 3 アンケートについて
校歌・校章のアンケートを実施することに決定した。

● **説明及び質疑応答**

○ **事務局**

それでは校章のスケジュールについてです。昨年10月の第3回、校名等部会でお示したスケジュールから変更がございます。先日の新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発出により、今年の2月に開催予定であった部会が延期になったため、スケジュールを変更させていただいております。なお検討事項についての変更はございません。

校歌については新しい校歌を作成するか、既存の校歌を活用するか、前回の

部会から引き続き検討いただくようになります。

今回の部会で作成方法について、方針が定まらない場合には、次回の第5回部会で検討していただくようになります。

続きまして校歌を活用する場合があります。この場合には、第6回部会において、どのような形で残していくのか、というものを一つ検討していただきます。そのあとは、曲のみを残すのか、曲・歌詞両方を残すのかなど、いくつかのパターンについて検討していきます。

部会長よろしく願いいたします。

○部会長

はい。では、私の方で進めさせていただきますけれども、今事務局から説明がありましたように、昨年10月に1回開かせていただいて、その時にはいろいろお話を聴いてみると、従来の本校の校歌をそのまま残したいというお考えの委員の皆様と、新しい学校だから新しい校歌が必要ではないかというようなお考えをお持ちの委員の皆様とで、いたのかなというふうに思っています。そこで、先日の、10月の部会時に、アンケートをとることについては、一切お話をしなかったもので、大変申し訳ないなというふうに思いますけれども。昨今の状況下で、このままだと意見が平行線になりまして、多数決で決める問題ではないので、委員の皆様以外にも特に本校を卒業されたOBの方々にも、どのようなご意見があるのかなというようなことで、神谷中学校、神谷小学校、稲田小学校の方に、アンケートをとらせていただきました。3校の卒業生並びにそれ以外の方に、本校の校歌のイメージについてどのような考えを抱えているかなということ、学校として知りたいという形で、アンケートをとらせていただきました。アンケート結果から、こうですよということ、乱暴に決めるとういうことはありません。皆さんがお考えいただいている考えの中の一つとしていただければ、そういうふうに思っている人がこれだけいるんだ、とか、私のように思っている人もいっぱいいるんだ、そういうような姿勢でこのアンケート結果を見ていただいて、先ほど事務局の方が話したように、本日は一時間程度の中で、議論が十分に尽くされるとは考えておりませんので、6月中旬ごろに、その方向性が、皆さんの総意のもとで、決まるような形に少しでもなったらありがたいなと思っております。

これまでのお話の経緯並びに3校の校長が進めて保護者の皆さんに取らせていただいたアンケート結果をもとに、委員の皆様から率直なご意見をいただきたいなというふうに思います。

まだ十分その結果について、見ていらっしやらない方については、次回に意見をいただければなあというふうに思っておりますので、今日は、先ほどお話

したように、ここで決めるっていうものではなく、皆さんからご意見をいただく中で、方向性が見いだせたらありがたいなというふうに思っています。

マイクを回らせていただきますので、ご意見いただければありがたいなというふうに思いますので、よろしくお願いします。

○委員

はい。それでは私のほうから少しお話と質問をさせていただきます。

部会長からの冒頭の挨拶でもありましたように、本日決定をするってことではなく、確認、意見を聴きたいというお話でしたので、それはいいことかなと思います。

アンケートの集計表を見させていただいたのですが、私も神谷中学校卒業で、できれば、神中のOBとして残せるものは残していきたいなという気持ちはあるのですが、このアンケートを見ますと、意外に新校ということで、既存の校歌を残すよりは、新しくできる学校ということで、さらにして、新しい校歌を作った方がいいという回答のパーセンテージが意外と高いのでびっくりしています。その点も含めて、これから皆さんの意見が出てくるとは思いますが、自分としては、迷っているのが正直ですけど、できれば、私も、残したいことは残したいと思ってはいますけど、北区で最初にできる義務教育学校ということもあるということも踏まえ、また、新しい学校というイメージも踏まえて、できればこのままさらな新しい校歌で作っていく方向に、少しでも向かっていければいいのかなと思っています。

○委員

私は、前回もお話ししましたがけれども、新しい歌を作った方がいいと思います。こういうふうにして皆さん集まっている訳ですから、まあ、今の歌を引き継ぐのもいいのですが、私は新しい歌を皆さんと考えていくことがいいと思います。

○委員

校名を作るときに、私も神谷小学校、神谷中学校、とずっときていたものから、結構その時にいろんな方が、神谷っていうものを残してもらいたいという話もあったのですが、しかし、やっぱりこれから新しい子どもさんが学んでいくという、そういうことを考えたときに、ここは、そういうことにとらわれずに、新しい校名でやるべきだというようなことを考えまして、その時に提示されました、都の北学園について賛成をいたしました。今回の校歌につきましても、やっぱりもちろん、そういう私の思いが、特に神中の一期生でありま

すから、今回については、非常に思いがあるのですけれども、しかし、やっぱり新しい学校をつくるということと、それから先、これから学ぶ子どもさんのことを考えたときに、新しい校歌で進めるべきじゃないかというふうに思います。新しい酒は新しい皮袋に、こういうふうに思います。そういう意味で、私といたしましても、思い切って新しい校歌を作っていたきたいというふうに思います。

○委員

私も最初は既存の神中の校歌、残していただきたいという方でしたが、このアンケートや、いろいろ見させていただくと、残念なことっていうか、意外と今の地域の人たちはこだわっていない人が多いのかなと思いました。そういう中で、結論から言うと、校歌を新たに作っていただいて、逆に10年、20年、30年くらい経って、元神中の校歌より、この校歌でよかったなっていうような声をいただけるような、校歌を作っていただければありがたいと思います。

○委員

私はですね。稲田小の方ですので、稲田小学校は、赤羽岩淵中学校の方にかなりの人数行っておりまして、校歌を新しく作って、小椋佳さんが作曲したというとても羨ましい気持ちをしたのを覚えております。特に有名な方の作曲ということではなくても、新しい歌詞と新しい曲で校歌を作っていただきたいなと思います。

○委員

この校歌アンケートの集計表を見た時は、大変なショックを受けました。神谷中学校の校歌は私自身、素晴らしいものであると思いますし、ぜひ残したいという思いは持っているのですが、新しい校歌に対する希望が、アンケートの取り方によっては数字がずいぶん変わってくるかとは思いますが、数字が少しショックではありました。今のところ、新しい校歌っていうよりは、新しい校歌がみんなに愛されるような校歌になればいいな、今を凌ぐ校歌であればいいなと、不安を持ちながら賛成します。正直ショックであったということだけは、申し上げたいと思います。

○委員

わたくし当初から、できれば神谷中の校歌を残していただきたい。ということを、提案させていただいてですね、その中にどれを残すかという理由も、再

三お話ししたと思いますが、このアンケートに対しては、なぜ残したいかという理由付けががまず一つもアンケートの中に載っていないということと、アンケート集計人数にばらつきがあるということで、このアンケートに対して設問と設定人数、対象が、もう少し幅広くやっていただけたらなと思います。でも実質、この集計に関してのパーセンテージというのは、直近の保護者や子どもたち、児童だと思われます。ということは、現状で新しい新校に通わせる保護者の皆様のご意見や子どもたちの意見だと考えると、それに合わせていきたいなどは思っております。以上です。

○委員

私は、新しい学校なので、新しい校歌を作っていただければなと思っておりますけれども。こちらのアンケートでも、新しい校歌にしたいという声が、そういう思いが、それに応えられるようないい校歌ができたらいいなって、そういう風に思っています。以上です。

○委員

残したいという思いはございました。そう考えておりましたけれども、皆様のご意見を聴いて、それで、話し合っ、進めていけたらありがたいなというふうに思っております。

残す場合のスケジュールと、それから新たに作成するまでのスケジュールについて両方ご用意いただいて、検討する場を持たせていただいたことに、感謝をいたしたいと思っております。

○委員

校歌の歌詞とかには、見えている風景とかが入っているかと思うのですが、変わってくる場合がありますし、中学生、3学年が歌うっていう対象ではなく、今度は小学生とか9学年が歌うっていう、対象者も変わってくるかと思うので、できれば新しくする方がいいのではないかなと思います。

○委員

前回、校歌を全く新しくして欲しいと言いましたけれども、それからちょっと考え直して、地域の人とかの話を受けてやっぱり、全く新しくすると悲しいという意見もあったので、新しい詞の中に、今の既存の一部を入れるっていうことはできないのかなと思ったのですけれど。そういう考えです。

○委員

私も、基本的には新しい学校なので、新しい校歌を作るのがいいのではないかと前回からお伝えしているところです。きっと子どもたち、新しくなった学校に行く時に、自分が考えた歌詞や、自分が感じた神谷や稲田のここが素敵だなってところが、アンケートを取って、歌詞に入っていると、非常にわくわく感を持って進学できるかなと思います。そういった意味で私も、新しい校歌を子どもたちに歌詞とかを考えさせたいなと思っております。

○部会長

今皆さん、今日ご出席の委員の皆さんに、お話を聴きました。

施設一体型小中一貫義務教育学校として、新しく生まれる学校であるからこそ、新しい校歌の中に、これまでの各学校の伝統を受け継いだ校歌を混ぜ込みながら作られることが、非常に望ましいのかなあというふうに思っています。今日結論を出すということではありませんでしたけれども、今委員の皆さんのお話を聴いていると、また、これからのスケジュールを考えると、できたら今日、前回、なかなか自分自身が納得できなかったとしても、皆さんの総意で方向性を生み出して、どんどん歌詞の中にどんな言葉を入れていくかということについて、また時間を使いながら揉ませていただければありがたいなというふうに思いますけれども、どうでしょうか。

○委員

いいですか。

○部会長

はい。

○委員

会長のお話のとおり、歌詞が新しいのが仮にできたときに、その中で、1回か2回聴いて、取り替えてとかあれば替えて、それはスケジュール的に事務局の方では可能なのか、ちょっとお聴きしたいのですが。

○事務局

お示しのスケジュールはあくまで予定というか参考としてお示ししているものでございます。校歌の作成については、令和5年度までに作成できればと考えておりますので、その間に、部会を今の回数よりも増やすことは可能です。

○委員

部会長、仮に作曲家に依頼するとして、出来上がって終わりではなくて、事務局のお話にもあった通り、スケジュール案通りでなくても、その範囲で、メロディーとか歌詞であるとか、変更することは可能だということによろしいでしょうか。

○部会長

令和5年度までに出来上がれば、1年間、3校で歌って統合を迎えることができる、コロナの状況によって、どういう風にこの予定が変化するかもわかりませんが、今のスケジュール感を見ると、十分ある程度、今日全体の総意の中で、そういう方向性が見いだせて、今後、校章に入れるイメージだとか、校歌に入れたい各学校の校歌の歌詞の言葉だとか、そういうようなアンケートを児童・生徒に取らせていただいて、それをある程度集約しながら、作詞の方に依頼し、そして、作詞の歌詞が決まって、そのあと作曲家等というようなスケジュール感がいいかなあというふうに思います。コロナでなければ、スムーズな日程の中で、進められるわけですがけれども、今日、そういう方向性を皆さんの総意の中で作っていただくと、少し余裕を持ちながら、いくつか、何回かキャッチボールをしながら、歌詞だとか、歌とかも、特に曲の方は歌詞が出来上がったうえですので、専門家じゃないので、私たちは中々手を入れられないと思いますけれども、歌詞の方はかなりキャッチボールができるような気はしますので、そういうことで進めさせていただければありがたいなあというふうに思っていますけど、どうでしょうか。よろしいですか。

○委員

校歌についてですけれども、作詞、作曲は1名の方をお願いするということでしょうか。できるのであれば、例えば3曲4曲まで絞り込んで、3曲位を作ってください、その中から、曲と歌詞を選べたらいいのかなとは思いますが、例えばそのやり方として、1人の作曲家の方に3曲作っていただくのも可ですし、3名の方をお願いするという考えもあります。ここであまりにも著名な方を選んでしまうと当然ノーと言えなくなります。そういうこととかを気にしながら、次回以降みなさんでお考えいただけたらなと思います。

○部会長

その辺のところはスケジュール感や、どういう方に依頼をするかということについては、またご相談をさせていただく中で、十分進められるかなというふうに思いますし、一曲これで、というものではなくて、幾つかの歌詞を作ってもらって、それに曲をのせてもらって、その中でどれにしていこうかなって

いう形で、それが一番、神谷中や、東十条、赤羽南地区の地域的な背景だとか、あとは、各学校の校歴や、児童生徒の様子だとかを踏まえながらいい校歌になるのかなというふうに思いますので、その決め方はある程度、今日こういう形でということではなく、次回の部会等でご相談させていただいて、また事務局から提案していただいで進められるのではないかなというふうに思いますので、いかがでしょうか。

○教育政策課長

すみませんちょっと補足させていただきます。一番のご懸念は、一つしかなくて、それに対して、反論もできないという状況が一番辛い、ということだと思いますので、1人の方に何パターンかお願いする。或いは複数の方にお願いする。というのはあろうかと思えますけれども、ただ頼むときに人によっては、即採用せざるをえないというような状況もあるのでしょうか、そういったことがないように、進め方をちょっと考えながら、工夫しながら、複数の案から選べるような、そんな進め方ができれば理想なのかなというふうに思っておりますので、のちのち皆様方にも、どんな作詞家がいいか、作曲家がいいというご意見も、伺わせていただきますので、そういった中で、決め方につきましても十分ですね、ご相談させていただきたいなというふうに思っているところでございます。

○委員

一曲だけできました。とか、これをお願いします。で、はいわかりました。ということではなくて、何曲か作っていただいで、その中から選べるようにしていただきたいというのが、私の意見です。

○部会長

はい。ではそういう方向で、これまで最近の統合校での作詞作曲をなされた方だとか、こういう方にお頼みできればなというようなことが、皆様と決められれば、良い方向性を持ちながらできるのかなというふうに思います。

では、決はとりませんが、そのような方向性でまずは校歌の方から決めさせていただきたい。作っていきたいというふうに思いますので、よろしければ、拍手を持ってよろしく申し上げます。

○各委員

(拍手承認～全員賛成)

○部会長

ありがとうございました。では、事務局の方からお願いします。

○事務局

はい。ありがとうございます。それでは、今後作成していくうえでは、皆様のご意見を、新しい校歌に反映する機会を設けながら進めさせていただければと思います。そうしましたら、今後の流れとしましては、校歌は新しく作成していこう、というところで意見がまとまりましたので、残りの時間で皆様には、児童生徒へのアンケートの実施、こちらの要否について、ご意見をお伺いできればと思います。アンケートの案については、事前に作成させていただきましたので、今からお配りしたいと思います。こちらのアンケートにつきましては、事前に校長先生にご確認をいただいているものでございますので、よろしく願いいたします。

○部会長

そこにありますように、校章に入れたいもののイメージと校歌に入れたい言葉を、募集しますっていう形で、児童・生徒に事務局の方で3校の児童・生徒の方にアンケートをとらせていただくっていう形ですね。裏面には、先ほどお話ししたように、校歌に入れたいイメージや、校章に入れたいものだとかを3校の校歌並びに校章について、現在使われているものを表記されております。この他にも委員の皆さんで、もうちょっと、こういうことを入れたほうがいいのではないかと、というご意見があれば、すぐには思いつかないと思いますが、後日でも、私にいただくなり、連絡いただければというふうに思います。これはいつやるのですか。

○事務局

次回の部会の日付が確定しましたら、アンケートをとらせていただこうと思います。もしよろしければ少し前倒しして、開催することを検討させていただければと思っております。こちらについては、正副会長と相談して進めさせていただければと思いますけれども、9月よりも前に部会を開かせていただく可能性もございます。そうするとアンケート自体は、その前の5、6月辺りに取らせていただくようにはなります。

○部会長

はい、それでは、アンケートの書式内容等につきまして、スケジュール的に少し余裕が出てきておりますので、ちょっとお考えいただいて、もう少しこう

という言葉を入れて、アンケートを取って欲しいとかっていうことがあれば、お出しただいてそれを事務局の方でまとめていただく形でいますけれども、その辺のところはどうでしょうか。

○委員

(反対意見なし)

○委員

校歌に入れたい言葉に制限はありますか。

○部会長

今、事務局に確認させていただきました。今の時点ではですね、3校の校歌の中に入れたい、残したい文言についての規制はございません。制約がなくアンケートをとらせていただくという方向かなという風に思っておりますので、よろしく願いいたします。期限はどうしますか。

○事務局

アンケートの内容につきまして何かご意見がありましたら、5月10日の月曜日までに事務局までご連絡いただければと思います。当事務局の番号は、アンケートの右下にお載せしておりますので、そちらまで直接お願いします。

最後に、次回の部会の開催の日程について、今現在、9月となっておりますが、先ほどお話いたしましたとおり、前倒しの可能性がございます。日程について部会長と話し合いをさせていただきますので、委員の皆様には事前にお知らせできればと思っておりますので、よろしく願いいたします。